

給食コラボメニュー (2016年の春の読書週間 4/23~5/13)



コラボ給食の写真です。

4/25 月

いかのみそ焼き

「こども古典落語4 トンチンカン長屋編」 著：小島貞二 出版者：アリス館



ある日、港でとれた名前なまえの分わからない魚さかなの名前なまえを言い当てた男おとこがいました。でも、よく考かんがえれば本ほん当とうの名前なまえかはわかりません。その話はなしをあやしく思おもったお殿様とのさま。その魚さかなを干ほして、もう一度名前なまえを聞きいてみました。すると？

4/26 火

マーボー豆腐

「ねこじゃらしの野原」 作・絵：安房直子 出版社：講談社



谷たにあいの町まちのとうふ屋やさんには、さまざまさまざまな客きやくがやってきます。すずめ、ねずみ、キツネ、木きの精せい、そしてもっとふしぎな物もののまでも。最近さいきん、間違まちがい電話でんわがかかってくるとうふ屋やさん。いったいだれの仕業しわざでしょう？

4/27 水

いちご

「102ひきのねずみ」 作・絵：長谷川かこ 出版者：金の星社



ねずみのチューチュさんいっか一家だいかぞくは102ひきの大家族はたけ。きょうはおばあさんの畑はたけでイチゴ摘つみ。みんなで初はじめてのお出でかけです。子こねずみたちは大おおはしゃぎ。でも、ねこのカブかぶには気きをつけて！

4/28 木

ピザトースト

「ふたりでおるすばん」 作・絵：いとうひろし 出版者：徳間書店



あたしは世界せかい一いちのお姉ねえちゃんなのに、うるさい弟おとうとがいる。ある日ひ、はじめてふたりだけで、おるすばんをすることになった。「おおかみがきて、だいちだいちちゃんちゃんは食たべられちゃうかもね」なんて、弟おとうとをおどかしているうちに…？

5/2 月

中華ちまき

「和の行事絵本 ①春と夏の巻」 作・絵：高野紀子 出版者：あすなる書房



5月の端午たんごの節句せっくには、「かしわ餅もち」や「ちまき」を食たべます。それはどうしてでしょうか？この本ほんは、「和わ」の伝でん統とう行ぎ事じと、季き節せつのくらしをわかりやすしく紹しょう介かいしています。

5/6 金

ピースごはん

「みどりいろのたね」 作：たかどのほうこ 出版社：福音館書店



まあちゃんたちのクラスでは、みんなそろって、はたけにたねをまくことになりました。でもえんどうまめのたねといっしょにうえた みどりいろのたねは、ようすがちがいます。いったいなにができるのでしょうか。

5/9 月

中華三色ごはん

「ソクラテスわらう (のらねこソクラテスシリーズ)」 作：山口タオ 出版社：岩崎書店



小学1年生のカズヒコと ノラネコのソクラテスは、なかよし。学校にもついてきます。あしたはたのしい遠足。でも、ソクラテスがついてこないようにないしょにしていました。ところが、遠足に行った先で、カズヒコたちは道に迷ってしまい…。

5/10 火

プリン

「大どろぼうとこびとのプリン」 作：山脇恭 出版者：偕成社



なんだろ 町のはずれの、なんじゃもんじゃの木のうちには、プリンのすきな、どろぼうのずるへいと、おじいさんの、ふたりのこびとがすんでいます。こびとのプリンは不思議なプリン。いったいどんな味かな？

5/11 水

マカロニスープ

「パーラ 沈黙の町」 作：ラルフ・イーザウ 出版者：あすなる書房

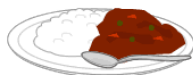


“詩人の町” シレンチア。平和に暮らしていた町に、突然奇妙な病が広がり始めました。今まで話せていた言葉が言えなくなり、その言葉も理解できなくなるのです。少女、パーラは謎を追っていきます。すると意外な犯人が…

5/12 木

チリビーンズライス

「ススめ おにぎりコロコロ ④豆の巻」 著：おぐまこうじ 出版社：偕成社



食べ物のくにに住んでいるおにぎりコロスケ。じいちゃんのような大忍者になるため、食べ物について、修行の旅にでます。今回は、「豆」がテーマ。おにぎりコロスケくんといっしょに修行すれば、身近な豆についてよくわかるようになりますよ。

5/13 金

ポテトチップス

「レンタルロボット」 作：滝井幸代 出版社：学研



学校の帰り道、「ロボットかします」という店を見つけた健太は、自分のこづかいで 弟 ロボットの「ツトム」を手に入れました。それからは 弟 のいる楽しい日々を過ごしていました。ところがある日、ツトムが健太のポテトチップスを全部食べてしまい…。

